

横浜市立小山台小学校 令和元年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

| 学校教育目標 | 教育課程全体で育成を目指す資質・能力 |
|------------------|----------------------------|
| 笑顔いっぱい とともに輝く小山台 | コミュニケーション能力 協働して課題解決する力 |

(2) 中期取組目標

| 中期取組目標 |
|---|
| <p>○温かい関わりの中で、活力と魅力にあふれた学校づくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童理解を十分に行い、全職員で全児童を指導する体制と特別支援教育の充実を図ります。 ・たてわり活動（異学年交流）を充実させ、人間関係の幅を広げ、豊かでたくましい心情やともに支え合い高め合う意欲を育てます。 ・学習習慣の確立と授業力の向上、地域教育の活用により確かな学力の向上を図ります。 ・職員・児童・地域で芝生の校庭を快適な状態に整備し、進んで運動を楽しむ体力の向上を図ります。 |

(3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

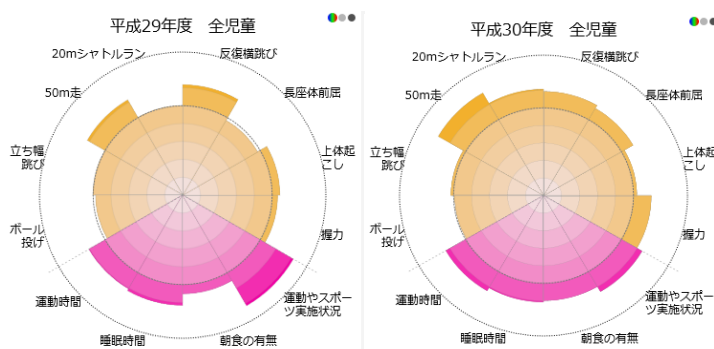
| 重点取組分野 | 具体的取組 |
|--------|--|
| 健やかな体 | <p>① 休み時間などに継続的な活動を取り入れることで、達成感を味わわせ、ほかの運動や種目にも意欲的に取り組めるようにする。</p> <p>② 学習カードなどを効果的に活用し、児童が楽しみながら体力向上を目指せるようにしていく。また、体育協会や委員会の児童、保護者と連携を取りながら活動を進めていく。</p> |
| 担当 | 体育部 |

2 体育・健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・昨年度同様、横浜市の平均よりも運動、スポーツの実施状況は上回っている。
- ・地域に外遊びをする場所はあるものの、習い事（塾等）に通っている児童も多く、運動が十分にできているとは言えない。
- ・保健室の利用状況を見ると、校内での打撲が多かった。友達とぶつかるケースが多く、今後も継続して「校内は右側を静かに歩く」ということを徹底して指導していく必要がある。

(2) 体力の概要と要因の分析



どの能力も横浜市の平均と同等、または上回っている。20mシャトルランについては、前年度よりも数値が上がり、持久力がアップしているため、引き続き、持久力を高める運動を行っていく。

今年度は、柔軟運動にも重点を置き、体力向上を図っていく。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科での取組》

児童が運動の楽しさや喜びを実感し、運動の日常化につなげられるように体育学習の充実を図る。

- ・本時の運動と日常の運動とのつながりを考えて取り組む
- ・中学校と連携した長期的視野での取組をする。

《他教科での取組》

- ・家庭科の「日常の食事と調理の基礎」領域との関連を図り、健康な体づくりをめざす。

特別活動・総合的な学習の時間

全校児童が取り組める遊びの中で、体を動かすことの楽しさを知り、運動への意欲を高める。

- ・たてわり活動での遊びや、委員会による集会で「ふれあい」を大切にしながら取組を全校で行う。
- ・児童が規則正しい生活習慣を身につけ、運動に親しんでいけるような活動を充実させる。
- ・運動会を体育学習の発表の場とし、目標に向かって友達と協力しながら活動できるようにする。また、目標達成や成功の喜びを味わうことができるようにする。

課外活動

- ・体力テストの結果や保健情報等をファイルしたものを家庭と共有し、家庭との連携を図る。
- ・横浜市体育協会における「いきいきキッズモデル事業」を活用し、保護者や地域の方とともに運動の幅を広げていけるようにする。学校のカリキュラムと合わせながら、委員会の児童と共に事業に参画した小山台小学校ならではの芝生を生かした取組になるように、体力向上推進委員会の職員を中心として、学校内の全職員が関わり、体力向上を図る。

令和元年度 小山台小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 いきいきキッズ

《ねらい》 進んで運動に親しみ、自ら体力を高め、たくましくすこやかな心と体を高める。

- 《内容》
- ・月に一度中休みに児童委員会活動と栄区体育協会、保護者と連携して「いきいきキッズ」を実施する。
 - ・今年度は柔軟運動、長距離走、8秒間走、縄跳びを中心として活動していく。長距離走については持久力をさらに高めるため、週に1回程度、5分間走を行う。

- 指 標：
- ①生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「一日の運動・スポーツの実施時間」
 - ②市学力・学習調査の意識調査と子どもの活動の状況との分析